古賀中央地区

(福岡県古賀市)

るまちづくり」を進める。

計 画 期 間 平成24年度~28年度

積 21ha

交付対象事業費 2,084 百万円

市人口 57,868 人 (地区内人口 1,188 人)

ポイント 既存の図書館と中央公民館をつなぐ 地区概要 本地区は、JR古賀駅を中心として発展した市街地で (仮称)生涯学習センターを、周辺自治体と の広域利用も視野に入れた内容で整備し、 街なかへの都市機能を誘導し「歩いて暮らせ

あり、その中心にある「生涯学習推進ゾーン」には、中央公民館 (ホール棟・研修棟[中学校旧校舎であったものをこれまで活用。 本事業において建て替えを計画])、図書館・歴史資料館、体育 館、グラウンド等が立地しており、これらの歴史的経緯や役割を 継承し、多世代にわたって幅広く活用できる施設整備を行う。

目標 標

生涯学習推進ゾーンを整備することにより、市民の生涯学習活動を活性化し、こころ豊かに学び続ける人を育て、 人や地域がつながり支え合うまちづくりを進める。

- ・公共交通の利用と連携した中心市街地の活性化
- ・各世代の市民の生涯学習の核となる集い・学び・交わりの場の提供
- ・市民への安全、快適な利用環境の提供

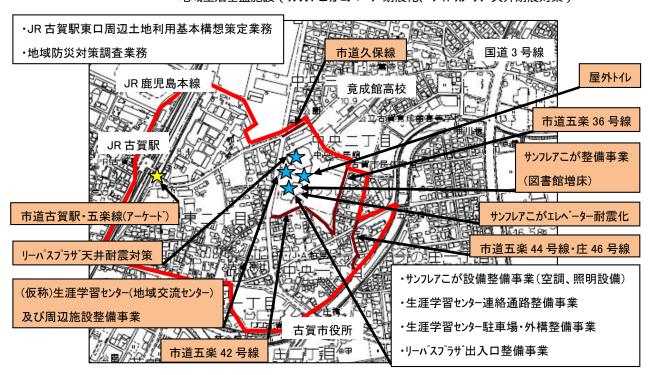
指標

生涯学習やまちづくり等 の活動を活性化し、地域力 の強化を図る観点から目標 指標を設定した。

生涯学習センターの利用者数	145,000 人/年	(H23)	\rightarrow	160,000 人/年	(H28)
生涯学習センターに対する満足度	13%	(H19)	\rightarrow	30%	(H28)
生涯学習機会の提供に対する満足	度 8.4%	(H19)	\rightarrow	17%	(H28)
図書館の利用者数	125,000 人/年	(H23)	\rightarrow	135,000 人/年	(H28)

事業内容

基幹事業(2,084 百万円) 道路(4 路線・L=566m) 高質空間形成施設(屋外トイレ、アーケード) 高次都市施設(生涯学習センター) 地方都市リハ・ーション推進施設(サンフレアこが増床) 地域生活基盤施設(サンフレアこがエレヘ・- ター耐震化、リーパ スプ ラザ 天井耐震対策)



地区の現況と課題

生涯学習推進ゾーン内に各施設が点在している他、施設の老朽化が 進み多様なニーズに応えられなくなっている。また、慢性的な駐車場 不足や周辺道路も狭隘で歩行者の安全が確保できていない状況である。 このため、施設の建て替えにあたっては、敷地内に再配置し都市機能 の相乗効果を高め、周辺インフラを一体整備することで新たな交流・ 活動を創出する。

計画策定プロセス

利用者アンケート調査の実施

生涯学習センター建設にあたり、建て替え前の研修棟の利用内容、 感想や新たな施設への要望等についてアンケート調査を実施。利用 者ニーズを過不足なく満たす施設機能を選定した。

公民館運営審議会における事業計画の審議

平成 23~28 年度にかけて、施設整備や運営方針の検討、工事の 進捗状況の確認、利用者からの要望と運営側が把握している課題等 を調整し、利用促進につなげる方策について審議いただいた。

建設現場見学会の開催

施設工事中に、市民・利用団体等を対象とした現場見学会を複数 回開催することで、施設への興味関心が深められ、完成後に積極的 に利用しようとする動機付けが図られた。また、完成イメージを共 有しながら計画の改良を図ることができた。

プロジェクト会議の開催

複数の課からなる横断的なプロジェクト会議を継続的に開催。 ゾーン内施設の運営が各々異なる状況であったことから、整備に合 わせて閉館日や受付窓口、組織体制等の施設運営方針を見直した。 また、周辺自治体との広域利用策や、利用者動線の検討を行い新た な施設を利用する人々が交流できるような空間の演出を協議した。

一 中村隆象 古賀市長のコメント

今回の研修棟建て替えや図書館増床を立案するにあたり、敷地内に建て替えることで一層の拠点化を図り、また別棟であった中央公民館と図書館・歴史資料館を渡り廊下で接続し、世代を超えた学習活動や市民交流の創出をめざすこととして、テーマを「つなぐ」と定めました。これら3施設がつながることで1+1+1が3ではなく、5にも6にもなるようパワーアップし、市の生涯学習の一大拠点としてますます機能して行くことを切に願っています。

➡ 公民館運営審議会 森部会長のコメント

長年待ち望んでいた生涯学習センターの完成と今回の受賞は、 計画段階から関わってきた本審議会にとりましても大変喜ばしいこ とです。生涯学習センターをゾーン全体の玄関口として利用者間の 交流を進めることで、学習活動のきっかけが生まれ、ゾーン全体が にぎわうことを期待しています。



生涯学習センターの外観



生涯学習センター内諸室と増床した図書館



生涯学習推進ゾーンの全景



建設現場見学会の内容

■1 整備を進める3つのキーワード

1. 人と人をつなぐ 新しい価値概を、「リーバスブラザホール機」と「サンフレアこが」に囲まれた広場に建て、出入り、したすい世帯場を受賞することで利便性を高め、ソーン全体をつなる。新たな人の流れを主め出します。

 かたちをつなぐ 連物の空間を、見通しのよいフォーラム(玄栗吹挽ホール)を中心に、同じ用途の部屋を開毎に集め、 *多様な活動が見えつながる局かれた空間*にします。

3. 未来へつなぐ 建物の機能を、自然の更みを活かした省エネ・省コストな造りとし、匿もが利用しやすいユニバーサ





施設整備の基本方針